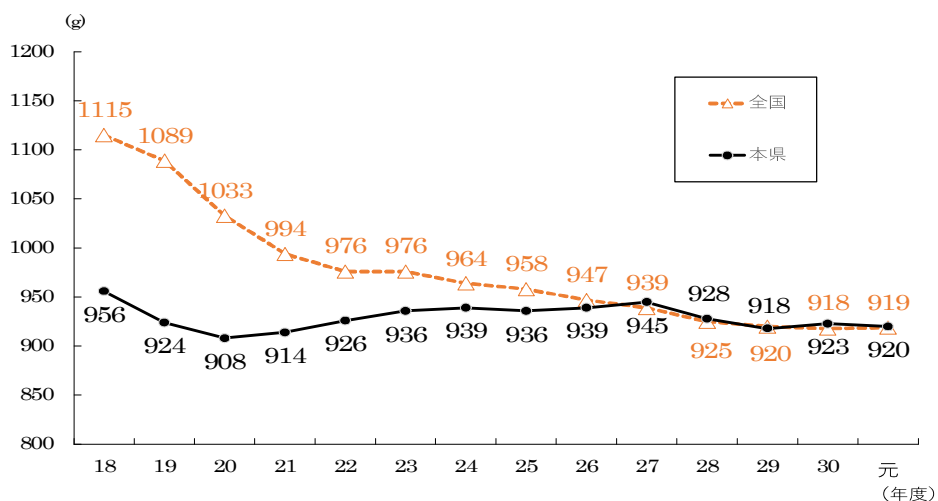


9 生活環境衛生の状況

(1) 県民1人1日当たりのごみ（一般廃棄物）の排出量の推移

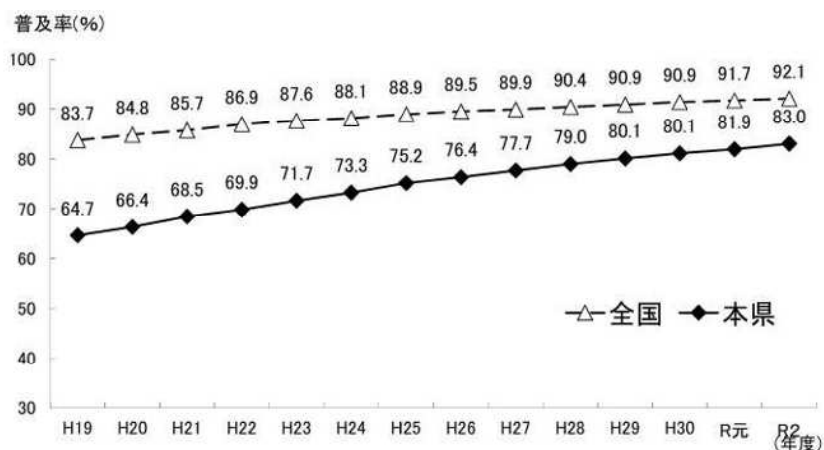
本県の県民1人1日当たりのごみの排出量は、令和元年度は920gであり、全国の919gよりも1g多い。



資料：環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

(2) 汚水処理人口普及率の推移

本県の汚水処理人口普及率は、令和2年度末で83.0%まで向上しているが、全国との差が9.1ポイントある。



資料：農林水産省、環境省、国土交通省「汚水処理人口普及率調査」

- (注) 1 平成23年度調査は、岩手県と福島県を除いた都道府県の集計データ
 2 平成24・25・26・27年度調査は、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があった福島県を除いた都道府県の集計データ
 3 平成28・29・30・令和元・2年度調査は、東日本大震災の影響により調査不能な福島県の一部市町村を除いた都道府県の集計データ

(3) 温室効果ガス排出量

① 本県の温室効果ガス排出量等

平成30(2018)年度の本県の温室効果ガス総排出量は、1,194万7千トン(二酸化炭素換算。以下同じ。)である。総排出量のうち、エネルギー起源二酸化炭素が73.8%と大部分を占めている。

(単位:千トンCO₂)

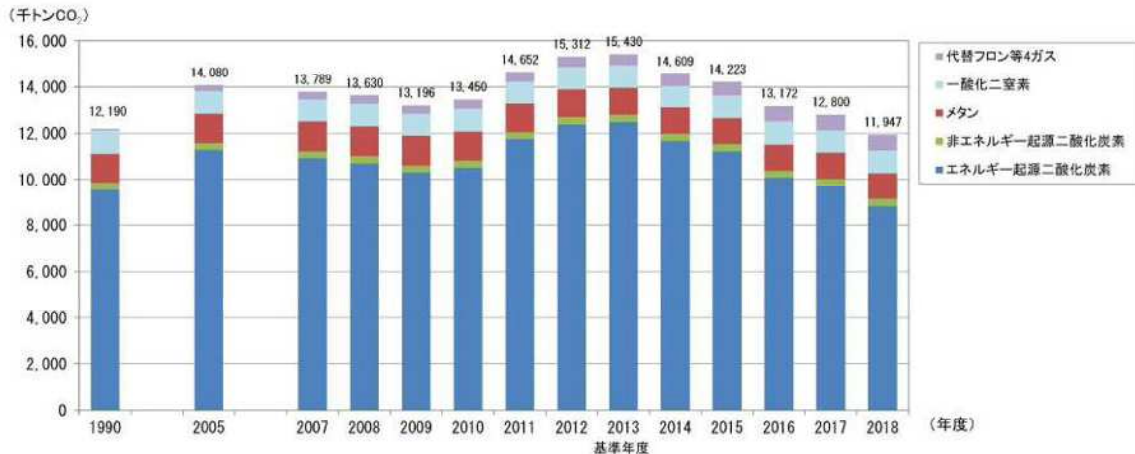
	1990年度	2005年度	2013年度 (基準年度)	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度			
	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	1990年度比	基準年度比	前年度比
	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア			
二酸化炭素(CO ₂)	9,849	11,586	12,791	11,984	11,530	10,394	10,027	9,128	-7.3%	-28.8%	-9.0%
	80.8%	82.3%	82.9%	82.0%	81.1%	78.9%	78.3%	76.4%			
エネルギー起源	9,520	11,277	12,483	11,670	11,216	10,083	9,720	8,815	-7.4%	-29.4%	-9.3%
	78.1%	80.1%	80.9%	79.9%	78.9%	76.6%	75.9%	73.8%			
非エネルギー起源	330	309	308	314	314	310	308	313	-5.2%	+1.5%	+1.8%
	2.7%	2.2%	2.0%	2.2%	2.2%	2.4%	2.4%	2.8%			
メタン(CH ₄)	1,274	1,260	1,168	1,134	1,118	1,128	1,132	1,148	-9.9%	-1.7%	+1.4%
	10.5%	9.0%	7.6%	7.8%	7.9%	8.6%	8.8%	8.6%			
一酸化二窒素(N ₂ O)	1,013	963	983	926	970	975	973	996	-1.6%	+1.3%	+2.4%
	8.3%	6.8%	6.4%	6.3%	6.8%	7.4%	7.6%	8.3%			
代替フロン等4ガス	54	271	488	564	604	675	667	675	+1155.0%	+38.3%	+1.1%
	0.4%	1.9%	3.2%	3.9%	4.2%	5.1%	5.2%	5.6%			
ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)	0	159	443	495	542	591	619	649	-	+46.4%	+4.8%
	0.0%	1.1%	2.9%	3.4%	3.8%	4.5%	4.8%	5.4%			
パーフルオロカーボン類(PFCs)	22	76	15	29	37	39	22	17	-22.6%	+11.7%	-25.3%
	0.2%	0.5%	0.1%	0.2%	0.3%	0.3%	0.2%	0.1%			
六ふっ化硫黄(SF ₆)	32	35	29	39	24	43	25	8	-74.0%	-71.4%	-66.4%
	0.3%	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.1%			
三ふっ化窒素(NF ₃)	0	1	1	1	1	1	1	1	+571.3%	-6.3%	+15.1%
	0.001%	0.006%	0.005%	0.007%	0.004%	0.008%	0.005%	0.006%			
合計	12,190	14,080	15,430	14,609	14,223	13,172	12,800	11,947	-2.0%	-22.6%	-6.7%
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%			
森林吸収量	-	-	-	2,081	2,073	2,022	2,015	1,989	-	-	-1.3%
森林吸収量を含む排出量	12,190	14,080	15,430	12,528	12,150	11,150	10,785	9,958	-18.3%	-35.5%	-7.7%

備考:四捨五入の関係上、合計等が一致しないことがある。

資料:環境林務部「2018(平成30)年度の本県の温室効果ガス排出量と森林吸収量について」

② 本県の温室効果ガス排出量の推移

平成30(2018)年度の本県の温室効果ガス総排出量は、平成25(2013)年度(基準年度)と比較して、22.6%(348万3千トン)減少している。



資料:環境林務部「2018(平成30)年度の本県の温室効果ガス排出量と森林吸収量について」

③ 本県のエネルギー起源二酸化炭素の排出量

平成30(2018)年度のエネルギー起源二酸化炭素の排出量は、881万5千トンであり、部門別排出割合をみると、運輸部門が47.3%と最も大きく、以下、業務その他部門が21.0%、産業部門が16.8%、家庭部門が13.2%、エネルギー転換部門が1.5%となっている。

(単位:千トンCO₂)

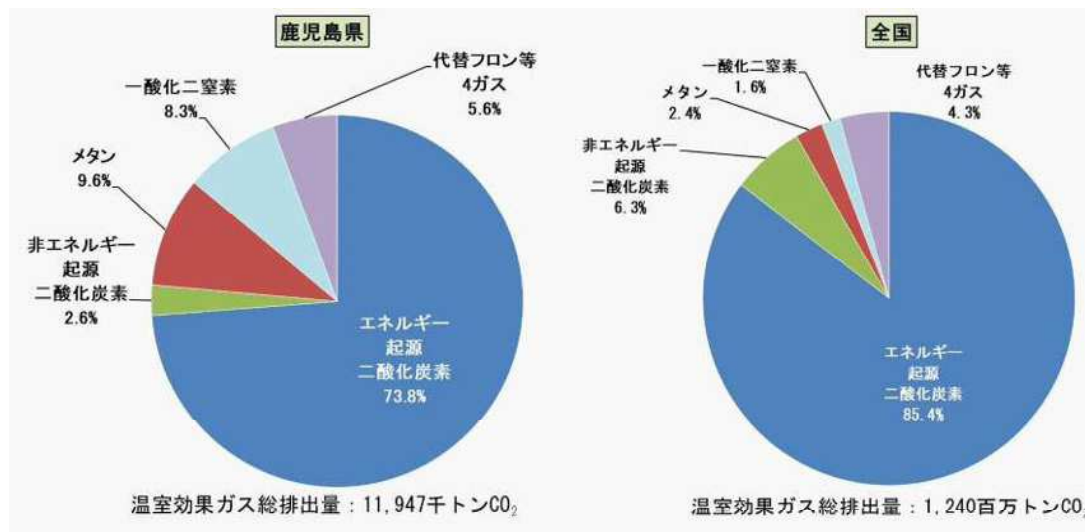
	1990年度	2005年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度			
	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	1990年度比	基準年度比	前年度比
	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア			
産業部門 (工場・農林水産業・建設鉱業)	2,583	2,351	2,407	2,163	2,078	1,820	1,707	1,484	-42.5%	-38.3%	-13.0%
	27.1%	20.8%	19.3%	18.5%	18.5%	18.1%	17.6%	16.8%			
業務その他部門 (商業・サービス・事務所等)	1,349	2,122	3,262	3,019	3,022	2,348	2,127	1,854	+37.5%	-43.2%	-12.8%
	14.2%	18.8%	26.1%	25.9%	26.9%	23.3%	21.9%	21.0%			
家庭部門	1,330	1,533	1,866	1,639	1,440	1,406	1,410	1,167	-12.3%	-37.4%	-17.2%
	14.0%	13.6%	15.0%	14.0%	12.8%	13.9%	14.5%	13.2%			
運輸部門 (自動車・鉄道・船舶等)	4,021	5,035	4,546	4,490	4,401	4,273	4,276	4,173	+3.8%	-8.2%	-2.4%
	42.2%	44.6%	36.4%	38.5%	39.2%	42.4%	44.0%	47.3%			
エネルギー転換部門 (発電所等)	236	236	401	359	274	236	199	136	-42.5%	-66.1%	-31.9%
	2.5%	2.1%	3.2%	3.1%	2.4%	2.3%	2.1%	1.5%			
合計	9,520	11,277	12,483	11,670	11,216	10,083	9,720	8,815	-7.4%	-29.4%	-9.3%
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%			

備考:四捨五入の関係上、合計等が一致しないことがある。

資料:環境林務部「2018(平成30)年度の本県の温室効果ガス排出量と森林吸収量について」

④ 温室効果ガス排出割合

平成30(2018)年度の本県の温室効果ガス排出割合を全国と比較すると、メタン及び一酸化二窒素の占める割合が大きい。メタンが家畜の消化管内発酵や排せつ物管理、水田など、一酸化二窒素が家畜の排せつ物管理や農用地の土壌などからの発生に起因していることから、農業県としての特徴を示しているものと考えられる。



資料:県 環境林務部「2018(平成30)年度の本県の温室効果ガス排出量と森林吸収量について」
 全国 環境省「日本国温室効果ガスインベントリ報告書2020年」